

## 【ロシア少年少女舞踊団「カリンカ」の概要】

カリンカ舞踊団は創立 40 年の歴史と伝統を持ち、指導者のアレクサンドル・ニカラエヴィチ・フィリーポフ氏のもと、6～16 歳の少年少女約 350 人が所属するアマチュアの舞踊団です。モスクワ市内の稽古場で、週 3 回の練習を基本としています。

150 以上の演目を持ち、世界各国の踊りを踊ったりもしていますが、主には旧ソ連邦とロシアの民族舞踊を子ども風アレンジした踊りが中心。これまで、フランス、アメリカなどをはじめ世界 42 ヶ国、180 を超える国内外の都市で公演をしています。

「カリンカ」の卒業生はボリショイ劇場やその他プロのダンサーとして多方面で活躍中。

## 【宗像公演実現の経緯】

ロシア少年少女舞踊団「カリンカ」は世界各国で公演を行っていますが、日本では十数年前に大阪・御堂筋のパレードに一度参加しただけ。自分たちの舞踊をステージで多くの日本人に見てもらいたいと長年願っていました。その想いを知っていた駐日ロシア大使夫妻も日本公演と日本の子どもたちとの交流を望み、公演を受けてくれる都市を探していました。

一方、宗像には、ロシアでも認められた文豪トルストイの研究家デイヴィス・ふみ子氏を妹にもつ方が住んでいました。そのデイヴィス・ふみ子氏と駐日ロシア大使夫人は旧知の仲で、大使夫妻の想いをお姉さんや取材を受けた記者を通じ宗像市へ届けました。国際交流、特に子どもたちの交流を大切にする宗像市長がこれを承知、ロシア大使からの正式な依頼も受け、宗像公演へ一歩を踏み出しました。

その後、宗像ユリックスのイベントホールでの公演が正式決定。子どもたちの交流を深めるため地元で活躍するリズムックダンス教室・シンフォニージュニア合唱団との交流公演・ホームステイも実現します。

## 【カリンカ舞踊団来宗日程】 ※詳細は別紙

日 程：平成 23 年 11 月 4 日（金）～ 11 月 6 日（日） 2泊3日

来宗人数：団員 24 人（男性 12 人、女性 12 人）

指導者 2 人

